

平成30年 7月 5日

各 位

東京都千代田区神田錦町2-1-1
安田不動産株式会社
代表取締役社長 中川 雅弘

平成30年3月期 決算（単体）について

以下の事項について、別紙のとおりお知らせいたします。

1. 平成30年3月期 決算（単体）

（本件に関するお問合せ先）
安田不動産株式会社
経営企画部 西川・広海
TEL 03-5259-0517

1. 平成30年3月期決算（単体）

(1) 貸借対照表及び損益計算書の要旨（単体）

貸借対照表の要旨

(平成30年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	23,700	流 動 負 債	23,072
現金及び預金	6,919	1年以内返済長期借入金	17,142
その他の	16,780	その他の	5,929
固 定 資 産	241,107	固 定 負 債	142,190
有形固定資産	163,706	長期借入金	110,226
建物	50,854	その他の	31,964
土地	108,881	負 債 合 計	165,263
建設仮勘定	3,259	株 主 資 本	70,808
その他の	710	資 本 金	270
無形固定資産	1,125	資 本 剰 余 金	10
投資その他の資産	76,274	資 本 準 備 金	10
		利 益 剰 余 金	70,527
		利 益 準 備 金	67
		その他利益剰余金	70,460
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	28,736
		その他有価証券評価差額金	28,736
		純 資 産 合 計	99,544
資 産 合 計	264,807	負 債 ・ 純 資 産 合 計	264,807

損益計算書の要旨

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	30,976	特 別 損 失	96
営業原価	17,357	税引前当期純利益	9,812
営 業 総 利 益	13,168	法人税、住民税及び事業税	2,996
販売費及び一般管理費	3,709	法人税等調整額	▲14
営 業 利 益	9,909	当 期 純 利 益	6,830
営業外収益	1,239		
営業外費用	1,240		
経 常 利 益	9,908		

(2) 平成30年3月期業績の前期比較と平成31年3月期の業績見通し(単体)

①収益の概況

	30年3月期	29年3月期	増減	前期比
営業収益	30,976 百万円	29,812 百万円	1,164 百万円	+3.9%
営業利益	9,909 百万円	9,979 百万円	▲ 70 百万円	▲ 0.7%
経常利益	9,908 百万円	9,735 百万円	173 百万円	+1.8%
当期純利益	6,830 百万円	6,924 百万円	▲ 94 百万円	▲ 1.4%

②主要な収益項目の内訳

	30年3月期	29年3月期	増減	前期比
不動産賃貸収益	19,594 百万円	18,809 百万円	785 百万円	+4.2%
分譲事業収益	6,957 百万円	6,515 百万円	441 百万円	+6.8%
不動産流動化事業収益	2,030 百万円	1,778 百万円	251 百万円	+14.1%
仲介鑑定・その他収益	2,394 百万円	2,708 百万円	▲ 314 百万円	▲ 11.6%

③平成31年3月期業績の見通し(単体)

	31年3月期	30年3月期	増減	前期比
営業収益	35,804 百万円	30,976 百万円	4,828 百万円	+15.6%
営業利益	10,068 百万円	9,909 百万円	159 百万円	+1.6%
経常利益	9,994 百万円	9,908 百万円	86 百万円	+0.9%
当期純利益	6,918 百万円	6,830 百万円	88 百万円	+1.3%

(3) 平成30年3月期業績の補足説明

① 総括

当期の経営成績は保有ビルの空室率の低下・賃料単価上昇による貸家料の増加や分譲事業収益の増加等が貢献し営業収益 30,976 百万円、営業利益 9,909 百万円、経常利益 9,908 百万円、当期純利益 6,830 百万円と前期比増収増益となりました。

② 部門別営業収益概要

不動産賃貸事業につきましては、テナント誘致活動及び賃料改定に注力した結果、前期比 785 百万円増の 19,594 百万円となりました。

分譲事業につきましては、レフィール日本橋馬喰町の分譲や大阪市中央区東心斎橋二丁目ホテル及び大田区平和島三丁目倉庫の売却により前期比 441 百万円増の 6,957 百万円となりました。

不動産証券化事業につきましては、前期出資した神戸安田ビルの通期稼働、当期出資の博多駅東サンライフホテル3が主要因となり、配当金が増加し、前期比 251 百万円増の 2,030 百万円となりました。

仲介鑑定・その他事業におきましては、仲介手数料収入減等により、前期比 314 百万円減の 2,394 百万円となりました。

(4) 平成31年3月期業績見通しの補足説明

平成31年3月期は、営業収益 35,804 百万円、営業利益 10,068 百万円、経常利益 9,994 百万円を見込み、営業利益は 159 百万円の増益、経常利益は 86 百万円の増益となる予想です。

以上